Derwent Data Analyzer Blueprint for Success

企業の特許ポートフォリオの比較を効率化

自社のポートフォリオを簡単に主要な競合他社と比較するにはどうしたらよいだろうか？ 自社の技術領域の中で、優位となる領域はどれだろうか？ 数千の特許情報から、次のアクションに繋がるような競合比較分析結果を今日中に得るにはどうしたらよいだろうか？

Derwent Data Analyzer は、自動レポート機能を利用して、あらかじめ用意された形式の Excel レポートを出力することができ、数千の特許データの傾向をすばやく読み解くことができます。特許データのトレンドがグラフや主要情報とともに表示されたレポートを、非常に短時間で作成します。

Derwent Innovation でデータセットを取得

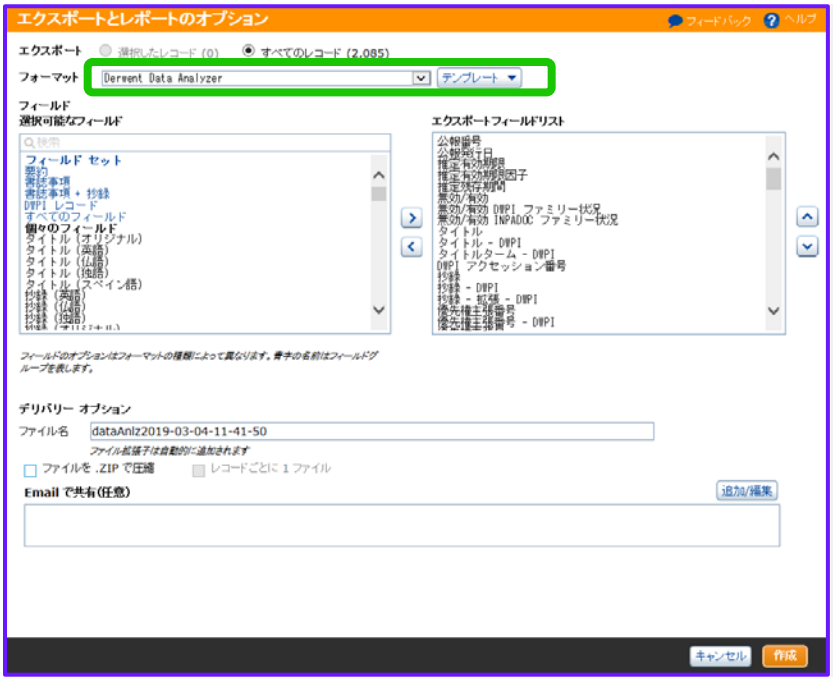
正しい分析結果を得るには、正確なデータセットが必要です。企業比較レポートはどのような検索結果セットでも役立ちますが、特に、複数の譲受人に対する分析に適しています。企業比較レポートは上位 5 位までの企業、またはご自身で作成した 5 件までの出願人のグループについて分析します。Derwent Innovation でデータセットを取得した後、Derwent Data Analyzer 形式でエクスポートし、そのデータを Derwent Data Analyzer にインポートします。

包括的な譲受人検索を実行

1. 企業比較レポートを作成するための、譲受人/出願人を決める
2. Derwent Innovation でこれらの譲受人を検索
3. 任意で、**[検索結果]** オプションから **[DWPI ファミリーを取得]** を選択
4. DWPI ファミリーを取得した場合、**[ツール]** メニューから **[表示と並び替えのオプション]** をクリックし、折りたたみ単位で **[出願番号]** を選択

ヒント: 任意で、それぞれの出願人について、さまざまなフィールド（例: コーポレートツリー、譲受人/出願人フィールド、最新-米国、DWPI 出願人コード、代理人、など）を利用して包括的な検索を個別に行うこともできます。それぞれの検索結果をワークファイルに保存し、そしてすべてのワークファイルの内容をエクスポートします。この方法により、複数の譲受人に対する検索式を一度に構築して実行するよりも、それぞれの譲受人に関連するすべてのレコードを確実に取得することができます。

データをエクスポート

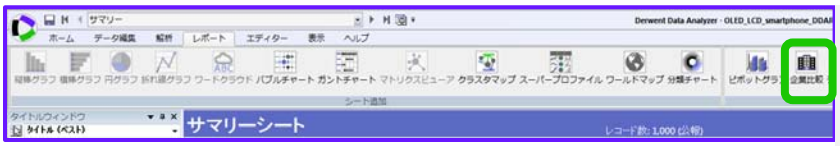


1. 検索結果から、**[エクスポート]** ボタンをクリック
2. **[フォーマット]** のドロップダウンメニューから、**[Derwent Data Analyzer]** を選択
3. デフォルトのフィールドリストには、予測データの法的状況の情報（有効/無効、推定有効期限、推定残存期間）を含む、DDA での分析に最適なフィールドが割り当てられています
4. 任意で、ファイル名を指定したり、**[ファイルを .ZIP で圧縮]** のチェックを外す
5. **[作成]** をクリックしてエクスポートデータを作成
6. [注文状況] スクリーンで、エクスポート処理の完了を待ち、そして **[ダウンロード可]** リンクをクリックしてファイルをダウンロード

システムによって、拡張子 **pdtf** のファイルが作成されます。pdtf ファイルをダブルクリックするだけで、DDA が自動的に起動し、インポート処理が開始されます。

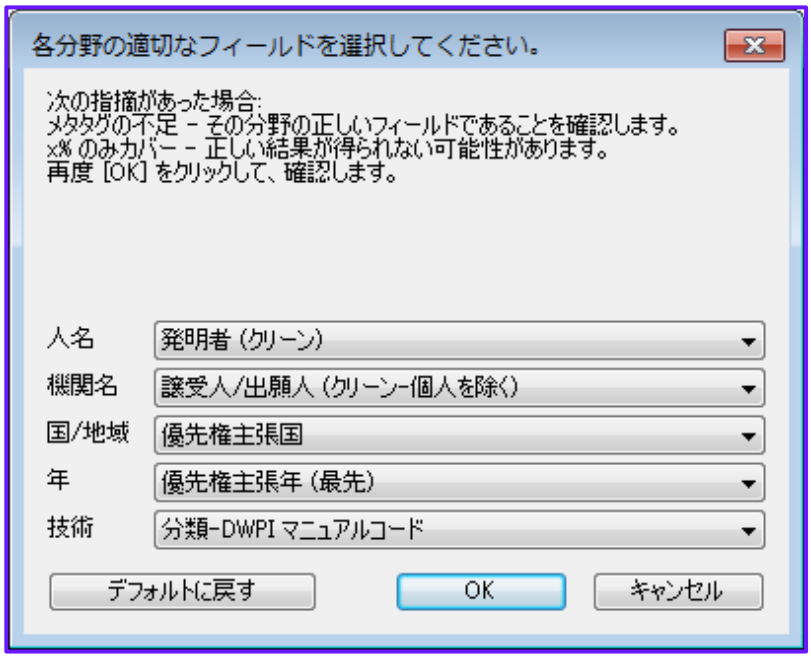
企業比較レポートを実行

DDA クリーンアップを実施したファミリーベースの DDA ファイルであることを確認してください。このファイルは、インポート時に自動的に作成されます。



1. リボン上で **[レポート]** をクリックし、**[企業比較]** を選択
2. データがクリーンアップされたものであるかどうかが確認され、そうでない場合はクリーンアップ処理後に実行

分析するデータカテゴリを決める



企業比較レポートのための 5 つの主なカテゴリが表示されます。

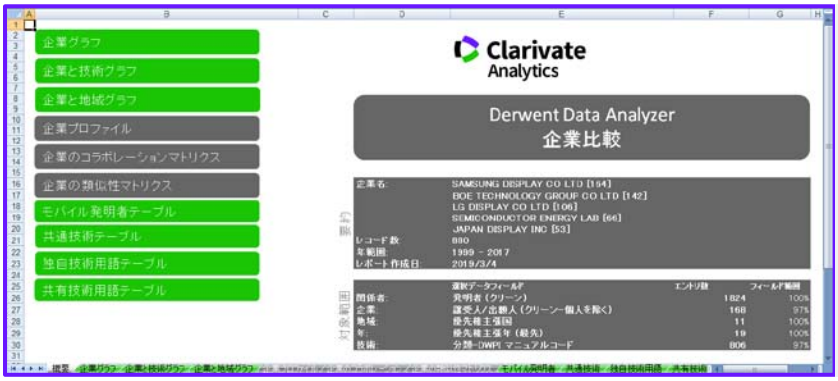
- **[人名]** - 通常、発明者
- **[機関名]** - 譲受人、または任意に作成した譲受人のグループ
- **[国]** - 優先権主張国 (発明がなされた地域) または DWPI ファミリーメンバー国 (出願先の国)
- **[年]** - 優先権主張年 - 最先 (発明がなされた時期)
- **[技術]** - DWPI マニュアルコード (Derwent 分類システム) または IPC が技術の比較に利用されます

企業比較レポートのためのフィールド選択のヒント

企業レポートには、クリーンアップされたデータが最も適しています。正確なレポートを作成するには、自動および手動のクリーンアップ両方を実施することを推奨しています。例えば、**[譲受人/出願人]** フィールドに対しては、DDA の「譲受人/出願人（クリーンアップ済み - 個人を除く）」フィールドの利用をおすすめします。また、この譲受人リストデータのさらなるデータ編集（リストクリーンアップ）が必要となります。これは、M&A、スペルエラー、企業名のわずかな差異によって、DDA の自動化アルゴリズムではマッチしないためです。

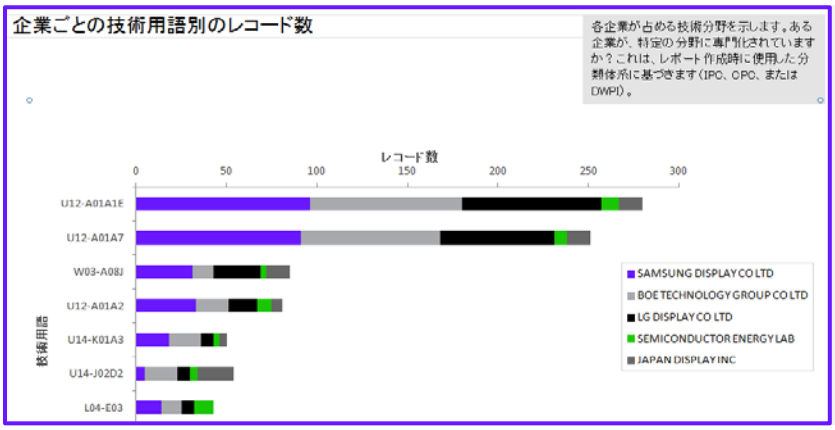
その他のフィールドについては、デフォルトではないフィールドでレポートを実行したほうが役立つ場合があります。**年**データおよび**国**データとして、出願年/国、出願年/国（ベーシック）、優先権主張年/国、公報発行年/日などを利用すると別の見方を行うことができます。それぞれの時系列のカテゴリは異なる状況を示します（例: 「優先権主張年 - 最先」は、その技術の権利保護が開始された年について示す）。技術は分類コードによって表されますが、DWPI マニュアルコードに縛られることなく、より大まかな分類の DWPI クラスや IPC キャッチワードも利用することをおすすめします。

企業比較レポートを利用する



1. 企業比較レポートは、Microsoft Excel 上で表示
2. このレポートの「概要」シート上に要約情報として、統計データやさまざまな分析情報へのリンクを表示
3. 参照する分析情報を左上のリンクから選択するか、各 Excel シートを直接選択

レポートには詳細な情報が提供され、さらなる分析を促す



各シート右上にあるグレーのテキスト欄には、それぞれのレポートの説明が表示されます。各シートの情報は、以下のような疑問を解決するのに役立ちます:

- 各企業の主要なテクノロジーは何か？
- 各企業はどの程度類似しているか？
- 各企業の独自のテクノロジーは何か？
- 各企業の主要な発明者および共同出願人は誰か？

左のグラフでは、DWPI マニュアルコードで示されている技術によって、5 つの企業を比較しています。これにより、各企業の主要な技術領域や、その比較情報についてすばやく確認することができます。